

参加無料

防災・減災をテーマにした

# ひょうご教育フェスティバル

## 第74次兵庫県教育研究集会全体会

2024.11.10 9:30-12:30



in 神戸市立西区文化センター

申込は二次元コードをクリック

### 展示・体験コーナー

防災・減災教育をテーマにした多種多様な展示と、作ったり、体験したり、楽しみながら防災を学べるわくわく体験コーナーがいっぱい！

当日OK

**体験** 紙芝居上映会  
「阪神淡路大震災～まーくんが伝えたいこと～」



阪神・淡路大震災の犠牲になったまーくんが命の大切さと命の守り方を伝えます。  
①9:30～10:00  
②11:00～11:30

北淡震災記念公園 野島断層保存館

当日OK

**展示 体験** AR・VRで体験  
NHKアーカイブス映像から学ぶ震災




AR(拡張現実)の技術によって、現在の地図上に阪神・淡路大震災当時の映像を見ることができます。震災当時の街の様子を映像と音で体感してください。VR(仮想現実)を通じて地震の揺れを体感できるコーナーも。

NHK神戸放送局

要事前申込

**体験** ダンボールで避難所体験  
(新聞紙スリッパづくり・語り部体験)




避難所の生活ってどうなるの？  
作って、聞いて、学びましょう  
①10:00～10:40  
②11:40～12:20

NPOふたば

当日OK

**展示** 能登半島地震多言語放送パネル展




能登半島地震発生直後、命を守る行動を促すために多言語と手話を含めて放送した内容をパネルにしました。

サンテレビ

当日OK

**展示 体験** 防災絵本を読んでみよう！




「100年先の未来まで伝えたい大切なこと」を描いたオリジナル防災絵本を読んでみませんか？  
阪神・淡路大震災の写真等のパネル展示も一緒に。

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

当日OK

**展示** 出張『震災資料室』



ラッセホール地階の震災資料室にあるパネル・文集、発刊した書籍等を出張展示し、当時はふりかえります。

兵庫県教職員組合・兵庫教育文化研究所

要事前申込

**体験** オリジナル防災タンブラーをつくろう



エコタンブラーを思い通りのデザインにかざり付け、防災グッズを入れておける防災タンブラーをつくりませんか？  
①9:30～10:00  
②11:00～11:30

NPO法人アトリエ・Petata

要事前申込

**体験** 防災おかしポシェットづくり体験




子どもたちの大好きなお菓子を入れたポシェットを手づくりして、防災について一緒に考えませんか？  
【3歳以上、親子で参加】  
①10:00-11:00  
②11:30-12:30

(一社) おいしい防災塾

当日OK

**体験** アート×防災ワークショップ




1枚の袋から何ができるか、一緒に考えてみませんか？  
楽しみながらみんなでつくろう♪  
防災学習は発想力から！

神戸教組防災・減災教育部会

当日OK

**展示** 阪神・淡路大震災  
震災から6ヵ月間の出来事




阪神・淡路大震災で甚大な被害を受け、被災した人々が直面した様々な出来事を、6ヵ月間を抽出してパネルにして展示します。

神戸アーカイブ写真館

当日OK

**展示** 防災食レシピ展




阪神・淡路大震災などの災害について学習した際に、ポリ袋調理の方法を学びました。調理実習や家庭学習で活用した防災食レシピを紹介しします。

神戸市教育実践研修 食教育グループ北ブロック

当日OK

**展示** 震災・学校支援チーム(EARTH)展



兵庫発の震災・学校支援チーム(EARTH)の活動を紹介したパネル展示。能登半島地震における活動の詳細も是非ご覧ください。

兵庫県教育委員会

子どもも楽しめるよ♪みんなで参加してね

※【要事前申込】のコーナーは10月25日(金)までに定員を超えた場合、抽選となります(結果は後日連絡)

主催：兵庫教育文化研究所・兵庫県教職員組合  
後援：兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会 他

# 震災シンポジウム

阪神・淡路大震災からまもなく30年が経とうとしています。この期に改めて震災についてみんなで考えてみましょう。

# 11.10 日 10:00-12:10

in 神戸市立西区文化センター  
2F なでしこホール

申込は二次元コードをクリック



震災シンポジウム

## 「子どもと災害にどうむき合うか」

### ～もし2030年に巨大地震が起きたら？～

もし2030年に巨大地震が起きたら、子どもと教職員は災害にどうむき合うのか？1995年と2011年、そして2024年に起きた3つの災害をもとに、大都市直下型の震災、地震と津波・原発事故の複合災害、過疎化した地域での震災、これらの可能性を考慮し、考えていきます。豊富な経験にもとづいた3人のシンポジストからの提案を受け、みんなでイメージを拓げ、今後に向けて考えてみましょう。

#### ○ コーディネーター

大森 直樹 さん



- ・東京学芸大学教授
- ・兵庫教育文化研究所防災教育部会協力研究所員
- ・東京学芸大学防災学習室を運営
- ・東日本大震災後の教育実践記録や受け入れ教育について研究

#### ○ シンポジスト

永田 守 さん



- ・元芦屋市小学校教員
- ・阪神・淡路大震災時に自身も被災
- ・30年間「震災をわすれない」とりくみを実践

三村 理加 さん



- ・姫路市小学校養護教員
- ・震災・学校支援チーム（EARTH）員
- ・能登半島地震に先遣隊として派遣される
- ・子どもたちの心のケアに尽力

白石 草 さん



- ・ビデオ・ジャーナリスト
- ・2001年に非営利のインターネット放送局
- ・NPO法人「Our Planet-TV」を設立
- ・チェルノブイリ原発事故後の子どもたち取材
- ・東日本大震災後の学校の様子を現在も継続的に取材

## 分科会



参加申込

# 11.9 土 9:30-17:00

神戸市立こうべ小学校  
神戸市立山の手小学校

24の分科会に分かれてレポートをもとに教育実践について語り合います。

## プレフェスティバル 子どもと親の劇場



参加申込

# 10.27 日 14:00-16:00

神戸新聞松方ホール

（一社）貞松・浜田バレエ団公演  
動物のカーニバル・白鳥の湖・日本のバレエ《祭》  
上演協力金：小中学生500円・おとな1,000円

